

令和4年3月31日

令和3年度事業報告書

社会福祉法人豊田みのり福祉会

我が国の総人口は、令和元年(2019)10月1日現在12,617万人となっており、平成20年(2008)をピークに長期の人口減少に転じている。今後、その減少幅は大きくなると見込まれ令和11年(2029)年に人口12,000万人を下回った後も減少を続け、令和35年(2053)には、10,000万人を割って9,924万人となり、令和47年(2065)には8,808万人になると推計されている。65歳以上人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった平成27年(2015)に3,387万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる令和7年(2025)には3,677万人に達すると見込まれている。平成2年(1990)に12.1%であった我が国の高齢化率は、令和元年(2019)までの間に16.3%上昇して、総人口に占める割合は28.4%(3,589万人)に達し、その後は減少に転じると推計されている。総人口が減少するなかで65歳以上の者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、令和18年(2036)に33.3%で3人に1人になる。令和24年(2042)以降は65歳以上人口が減少に転じても高齢化率は上昇を続け、令和47年(2065)には38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上となる社会が来ると推計される。総人口に占める75歳以上の割合は、令和47年(2065)には25.5%となり、約3.9人に1人が75歳以上の者となると推計されている。

出生については、昭和49年(1974)に当時の人口置換水準を下回って以降は、低下傾向にあり、平成2年(1990)には、前年の出生率が丙午の年(1966)を下回る1.57と発表され「1.57ショック」と言われた。その後も出生率の低下傾向は続き、平成17年(2005)には、過去最低の1.26を記録した。平成18年(2006)以降は穏やかな上昇傾向にあったが、ここ数年微減傾向にあり、令和元年(2019)における出生数は、87万人と過去最低となった。将来推計人口における令和22年(2040)の出生数は74万人と推計されており、令和元年(2019)の9割、平成元年(1989)の約6割の水準になると見込まれている。

平均寿命については、平成2年(1990)に男性75.92歳、女性81.90歳であったが、令和元年(2019)までの約30年間で約5年以上伸びて男性81.41年、女性87.45年となった。今後の約20年間でも約2年伸び、令和22年(2040)には男性83.27年、女性89.63年になることが見込まれている。

採用・定着・育成の強化を最重要項目に揚げ、高校生を対象とした企業求人説明会に積極的に参加しました。ハローワーク主催の求人説明会に参加申込みも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止延期となりました。引き続き学校関係、人材紹介会社、派遣会社、シルバー人材センター、地区回覧、職員紹介、インターネット等の媒体をフルに使い獲得に努めました。今年度は、新卒3名(高卒3名)の応募があり厳正なる選考会を行い採用しました。中途採用については、新卒(専門卒1名)を含め、応募者が昨年より増加傾向にあり、有資格者(介護福祉士等)を優先できる環境にありました。職員が安心して働き続けられる職場づくりが出来るよう職場環境の整備及び採用より3ヶ月を目途に本人との話の出来る環境作りに努め結果、離職率が下がりました。また、将来を見据えた異動、資格取得補助等積極的に行い組織

基盤の強化に努めました。職員の勤務状態、個人の悩み等把握し「早めの対応」を心掛けコミュニケーションがとれる環境づくりに努めました。託児所利用の職員については、定着促進に向けた多様な働き方(土・日定休、時短)が出来るよう現場の協力の下、定員8名運用の効率化を最大限に図り離職率の低下に貢献しました。また、託児所があることの強み及び「安心して預けて働ける」環境が整っていることを各ネットワークでPRし差別化を図りました。

人材育成の一環として、外部より専門講師を招き専門的知識の向上及び職員間の情報共有を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。地域包括職員と法人(施設長、事務長、担当リーダー)との情報懇談会(1回/2ヶ月)は昨年に引き続き継続し、法人内センター運営状況等共有し相互の共通認識が出来ました。また、他部署との情報懇談会も開催できるように努めてまいります。

特養みのり園では、助成金交付条件の中、大規模改工事(WiFi関連、勤怠管理システム等)を行い、業務の効率化を図り入居者へのサービスの質の向上に努めました。また、その他老朽化により補修が年々多くなるなか全体のバランスを取りながら、複数の業者より見積り取り値段交渉後、信頼のおける業者に委託しました。簡易な修理は自社で行い、職員一人一人が節水、節電、消耗品等の節約に積極的に取り組み経費削減に努めました。

消防訓練については、年2回実施し昼間訓練と夜間想定訓練を交互に行い非常時に混乱しないような訓練を実施しました。昼間訓練では、特養とデイサービスセンターとの合同訓練とし利用者様にもご協力いただきました。また、浸水指定地区に指定された施設(つつみ園)については、避難確保計画(2018年度作成)に基づき、利用者に協力をいただき訓練を実施しました。防犯マニュアル(不審者対応)を作成し、特に休日等管理者不在、職員が少ない時などの対応が安全且つスムーズにできるよう徹底しました。また、地域との連携を密にして訓練の実施をしております。

豊田みのり福祉会としては「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことのできる、福祉のまちづくりをめざして」人権を尊重し、明るく快適な生活の場を提供し自立支援を促し、且つ社会的、文化的な生活への参加をさせることを目的に施設が持つ機能を効果的に開放し福祉の拠点として、地域住民と密着した施設の機能を高める事を提供でき、地域に貢献することができました。

新型コロナウイルス感染症対策として、基本方針に基づき感染源とならないよう「飲酒を伴う懇親会等」「大人数や長時間におよぶ飲食」「マスクなしでの会話」「狭い空間での共同生活」「居場所の切り替わり」等徹底して避けるよう適宜指導しました。また、パソコンやエレベーターのボタンなど複数の職員が共有するものは定期的に消毒するなど継続的に努めております。出勤前検温の実施報告、発熱(37.0度以上)が認められる場合など対策(出勤はせず外出を控える、4日以上続くときは帰国者・接触者相談センターに連絡する)を徹底しております。感染症の疑いのある利用者がある場合は、早期に隔離し保健所の指導の下、安全対策の徹底に努めております。面会については、感染拡大防止のため引き続き中止しております(WEB面会は利用可)。

利用者数は、特別養護老人ホーム豊田みのり園は減少、ショート利用者は微増、みのり園デイは増加、いさと園デイは減少、特別養護老人ホーム豊田つつみ園は増加、ヘルパーは減少、つつみ園デイは減少、特別養護老人ホーム豊田わかばやし園は減少となりました。

支出として水道、ガス、電気、燃料等単価変動により昨年度より大幅に増加しました。紹介手数料(人材紹介会社)を最低限に抑え、他の媒体(ハローワーク、地元回覧チラシ、職員紹介、ホームページ等)を最大限に活用し削減に努めました。

令和4年4月1日現在 役員 15名(理事6名・監事2名・評議員7名)

職員数202名(常勤129名・非常勤73名)

主な事業

1、法人事務局 (常勤3名兼務)

特別養護老人ホーム「豊田みのり園」開設18年目を迎え、職員教育、特に法人理念実現のための教育に重点をおきました。職員の確保と職員の処遇の改善等を行い職員が安心して働けるよう努めました。また、キャリアアップの仕組みを整備し非常勤から正規職員への登用も推進しました。各種研修会への参加、福利厚生、人事管理に努めました。新規卒業者や中途応募者の採用活動に努め、引き続き良好な関係の下、各学校関係等に呼びかけました。長期間安心して働ける環境づくりに努めてまいりました。

交通安全については、業務車両等の交通事故ゼロを目指して、各施設(みのり園・いさと園つつみ園・わかばやし園)において豊田警察署の専門指導員による講習を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年連続で中止となりました。安全衛生委員会を中心に、交通安全運動を行い、特に全国交通安全週間には、通達・ポスター等で職員に交通安全の呼びかけを実施しました。事故件数は16件(みのり園4件・いさと園6件・つつみ園5件・わかばやし園1件)と昨年15件に比べ1件増加となりました。その中でデイサービス車両と軽自動車よる物損事故については、過失割合当方9割、相手方1割、損害金額当方120,241円、相手方119,900円合計240,141円の費用が発生しました。事故当事者にはペナルティとして、2週間の公用車運転禁止の厳しい処置が課せられることを知らしめました。16件の事故の内デイサービスの事故が9件(16件の内)と半数を超えており、デイサービス管理者、事故当事者には、余裕を持ったタイムスケジュール管理及び運転技術の向上を目指すよう指導しました。また、事故の要因分析(DR映像確認)を徹底し防止に取り組んでまいります。

労働災害については、2件(①右眼球に液体洗剤が直接入った。②車いすの下に足を入れてしまい右足第三指の爪が割れた)発生しました。いずれも軽症で休業労災にはならなかった。介護職員2名には、液体洗剤の取扱い(使用後キャップを締める)、車いすの取扱い(タイヤの下には足を入れない)等基本を遵守するよう指導しました

メンタルヘルス、ハラスメント等については、報告、連絡、相談、指導を行う窓口を設定し申し出職員の個人情報漏れないよう規程に基づき対処し、職場環境の改善に努めました。ストレスチェックについては、実施者(産業医)であることを明確にし、全職員(常勤・非常勤)を対象に実施し結果、産業医の面談希望者(高ストレス者)1名あり、面談の結果についての助言があり対応しました。引き続き、産業医との情報共有を行い適正に実施していきます。

2、特別養護老人ホーム豊田みのり園 (定員90名・常勤52名 非常勤15名)

入居者の人間性を尊重し、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、可能な限り、居宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事等の介護、相談援助及び療養上の世話を行うことを、令和元年度の目標とし、入居者の楽しめる企画を多く実施しました。季節に合った行事(レクリエーション)を多く実施し利用者の満足度をアッ

プにつなげるよう取り組んできました。日常生活の充実を図るため、管理栄養士を中心に新メニューの試作、ソフト食の試食を行いました。また、毎月行事を実施し、出来るだけ季節感を感じることができるよう施設の中にとどまらず、入所者の気分転換、モチベーションアップを目的とした外出行事を行い入所者、家族の方々に大変喜んでいただきました。各委員会を開催し職員間のコミュニケーションを図り問題意識の共有化に努めました。

長期面会が中止となっている中、広報誌の充実を図り入居者みなさんの様子などご家族に知っていただくよう努めました。年間を通して入院、退所が多く稼働率も下がり減収となりました。

※入所が26名（内訳 施設等8名・居宅10名・有料老人ホーム3名・その他5名）

※退所が27名（内訳 死亡等13名・医療機関5名・その他9名）

※車いすボランティア以外の学生職場体験等の受け入れは新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入を中止。

介護度別及び年度別比較表 (延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 計 | 平均介護度 |
|-------|--------|--------|-------|------|------|-------------|-------|
| 令和3年度 | 8,368 | 11,937 | 7,698 | 365 | 0 | 28,368 | 4.00 |
| 令和2年度 | 10,130 | 10,098 | 8,075 | 365 | 0 | 28,668 | 4.04 |
| 比較 | -1,762 | 1,839 | -377 | 0 | 0 | <u>-300</u> | |

平均年齢 87.9歳(昨年 87.8歳) 平均稼働率 86.35%(昨年 86.6%)

3、みのり園ショートステイセンター (定員20名)

ご利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を自宅で営むことが出来ることを、念頭において、入浴、排泄、食事等の介護及び療養上の環境を整えお世話をいたしました。ご利用者の心身の機能維持並びにご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るよう努めました。利用頻度の高い方々が入院や老人保健施設に入所され、延べ人数が減少しているため、一人当たりの利用日数は減少しています。引続き利用の勧誘に努めました。

※令和3年度 1日平均 5.5名 令和2年度 1日平均 5.5名 令和元年度 1日平均 8.9名

介護度別及び年度別比較表 (利用実人数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 要支援 | 計 |
|-------|------|------|------|------|------|-----|----------|
| 令和3年度 | 20 | 60 | 45 | 42 | 60 | 2 | 229 |
| 令和2年度 | 13 | 61 | 56 | 46 | 43 | 4 | 223 |
| 比較 | 7 | -1 | -11 | -4 | 17 | -2 | <u>6</u> |

稼働率 27.4%(昨年 27.3%)

4、みのり園デイサービスセンター (定員40名・常勤5名・非常勤4名・運転手3名)

ご利用者がご家族との在宅生活を円滑に送れるよう支援し、日々の介護に携わる家族に対して知識、技術を常に磨き介護力を高めて提供できました。また要望を聞き介護計画の充実を目指し、施設内及び施設外の研修会、勉強会に積極的に参加しました。ご利用者の方に室内でも十分楽しんでいただけるようなレクリエーション等を実施し喜んでいただきました。ご利用者人数については、ケアマネ等新規獲得に働きかけ良好な関係を保ち、また、広報誌等で空き状況をお知らせして新規獲得に努めました。ご利用者が入院、ショート利用、施設

入所等ありましたが、年間通して増加となりました。引続き、営業活動を行うと共に、他施設との差別化及び地域に根ざした施設を目指してまいります。

介護度別及び年度別比較表

(延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 要支援 | 計 |
|-------|------|------|------|-------|-------|-----|------------|
| 令和3年度 | 353 | 576 | 368 | 1,054 | 1,364 | 631 | 4,346 |
| 令和2年度 | 261 | 570 | 336 | 1,087 | 1,255 | 554 | 4,063 |
| 比較 | 92 | 6 | 32 | -33 | 109 | 77 | <u>283</u> |

平均介護度 2.02(昨年 2.1)・平均利用人数 14.1名(昨年 13.1名)

5、みのり園ヘルパーステーション（常勤3名・登録ヘルパー17名・事務職員1名）

ケアマネジャーと情報の共有及び利用者の状態の要望や意向を把握し活動内容、時間など考慮して常にモニタリングを行いケアプラン作成の向上に努めました。また、訪問介護、訪問看護、地域包括支援センターなどと積極的に連携を図りご利用者の状況を報告するとともにご本人、ご家族のニーズに応ずるよう改善に努めました。毎月のテーマを決めて、講師(外部、包括、栄養士等)を招き全員参加できる内部研修を実施し、情報の共有化に努めました。また、法律の改正等基本など専門家による指導を依頼し全体のレベルアップに努めました。また、管理栄養士指導の下、調理実習等を行い、栄養の面より知識を習得し活動に役に立つよう努めました。ご利用者は入院、施設へ入所等で減少となりました。

訪問件数年度別比較表

(延べ訪問件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|------|------|------|------|------|------|---------------|
| 令和3年度 | 630 | 587 | 560 | 556 | 537 | 550 | 3,420 |
| 令和2年度 | 843 | 721 | 752 | 792 | 794 | 804 | 4,706 |
| 比較 | -213 | -134 | -192 | -236 | -257 | -254 | -1,286 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 令和3年度 | 649 | 648 | 641 | 608 | 625 | 683 | 3,854 |
| 令和2年度 | 808 | 711 | 751 | 613 | 556 | 720 | 4,159 |
| 比較 | -159 | -63 | -110 | -5 | 69 | -37 | -305 |
| | | | | | | | <u>-1,591</u> |

6、みのり園居宅介護支援センター（常勤4名）

介護保険法の理念に基づき要支援状態或いは要介護状態にある高齢者自らの意思を尊重し、その新進の状態に応じた能力を活かし、住み慣れたご自宅等で出来るだけ自立したその方らしい生活を営むことができると共に、状態の悪化を予防できるよう医療・福祉の関係機関又は、地域の方々と連携し、総合的に支援を行いました。また、信頼されるケアマネ事業所であることを目標としケアマネ連絡会や内外の研修会に積極的に参加しました。ご家族からも信頼され頼りになるケアマネを目指して、資質向上、専門的知識、技術向上を図り、積極的にご利用者の意向を聞きより質の高いサービスを提供できました。

プラン件数年度別比較表

(延べ件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 令和3年度 | 145 | 154 | 156 | 154 | 152 | 145 | 906 |

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 令和2年度 | 152 | 151 | 159 | 151 | 151 | 151 | 915 |
| 比較 | -7 | 3 | -3 | 3 | 1 | -6 | -9 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 令和3年度 | 143 | 151 | 150 | 147 | 142 | 146 | 879 |
| 令和元年度 | 148 | 151 | 149 | 142 | 145 | 140 | 875 |
| 比較 | -5 | 0 | 1 | 5 | -3 | 6 | 4 |
| | | | | | | | <u>-5</u> |

7、みのり園地域包括支援センター（常勤3名・非常勤2名）

高齢者が要援護状態に陥ることや、要援護状態であっても状態が悪化しないよう必要な支援を行うために、対象区域である豊田市南部（若園中学校区）の地域の実態把握とともにその心身の状況・環境その他に応じて介護予防その他の適切な事業が包括的かつ効果的に提供支援することができました。令和3年度も継続してネットワークの充実を図り地域に密着した支援ができました。地域のニーズを訪問、相談、面接を通じて把握して、実態に合った介護予防プラン及び介護教室（年間数回・認知症予防、健康測定等）、認知症サポーター養成校講座を6回開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数を制限しました。人材育成計画に基づき包括的に支援事業に専念できる環境の整備に努め、3包括(みのり園・つつみ園・わかばやし園)との情報を共有し職員の資質向上に努めました。

年度別比較表

(電話・訪問・来園・対応件数)

| | 電話 | 訪問 | 来所 | 対応件数 |
|-------|-------|-------|------|--------|
| 令和3年度 | 3,318 | 977 | 203 | 5,276 |
| 令和2年度 | 3,851 | 1,849 | 603 | 6,308 |
| 比較 | -533 | -872 | -400 | -1,032 |

8、いさと園デイサービスセンター（定員40名・常勤4名・非常勤9名・運転手3名）

ご利用者及びご家族のニーズを聞きご利用者の人達に室内で楽しんでいただけるように自立支援に繋がる個別（生け花・音楽）のプログラム及びレクリエーションを実施し関わりを密にして大変喜んでいただきました。特に手作りおやつ回数を増加、また体操の内容(プログラム)を定期的に変更し、マンネリ化を予防しご利用者のモチベーションアップに努めました。また、連絡帳はご家族に十分情報が伝わるよう丁寧な記入に心がけました。

人数につきましては、入院、特養、老健入所及び年間を通して体調不良者が多く出ましたが、空き情報をケアマネ等に情報を共有し集客に努めましたが減少となりました。地域に根ざした施設を目指し、愛されるデイサービスセンターを目指してまいります。ボランティア等については、新型コロナウイルス感染拡大防止により受け入れは中止しています。

介護度別及び年度別比較表

(延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 要支援 | 計 |
|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------------|
| 令和3年度 | 18 | 633 | 851 | 2,202 | 2,406 | 1,095 | 7,205 |
| 令和2年度 | 1 | 873 | 781 | 2,575 | 2,240 | 1,146 | 7,616 |
| 比較 | 17 | -240 | 70 | -373 | 166 | -51 | <u>-411</u> |

平均介護度 1.7(昨年 1.7)・平均利用人数 23.8名(昨年 25.1名)

9、いさと園生活支援通所サービス事業所（常勤兼務1名、非常勤兼務1名）

地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、サービスを充実することにより、要支援者に対する効果的かつ効率的な支援等可能とし、地域の支えあいの体制づくりを推進し、高齢者の社会参加や生きがい作りを通して、高齢者自身の能力を最大限に発揮できるよう介護予防の取組みを推進し地域に貢献できました。

利用人数年度別比較表(令和2年度)

(延べ利用者数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|
| 事業対象者 | 7 (20) | 4 (20) | 10 (20) | 5 (24) | 7 (11) | 10 (13) | 43 (108) |
| 要支援1 | 9 (0) | 7 (0) | 9 (0) | 7 (0) | 8 (0) | 7 (0) | 47 (0) |
| 要支援2 | 0 (2) | 0 (3) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (5) | 0 (12) |
| 合計 | 16 (22) | 11 (23) | 19 (21) | 12 (24) | 15 (12) | 17 (18) | 90 (120) |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 事業対象者 | 5 (10) | 7 (11) | 7 (10) | 5 (10) | 6 (8) | 5 (10) | 35 (59) |
| 要支援1 | 7 (8) | 8 (3) | 8 (0) | 8 (0) | 7 (3) | 8 (4) | 46 (18) |
| 要支援2 | 0 (4) | 0 (3) | 0 (4) | 0 (4) | 0 (4) | 0 (4) | 0 (23) |
| 合計 | 12 (22) | 15 (17) | 15 (14) | 13 (14) | 13 (15) | 13 (18) | 81 (100) |
| 比較 | | | | | | | <u>-49</u> |

10、特別養護老人ホーム豊田つつみ園（定員29名・常勤21名・非常勤7名）

入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、居宅における生活への復帰を念頭において、入居前と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことが出来るよう支援していくことを運営方針とし、初年度より、地域交流ふれあい夏祭りや新年会などをはじめ、出来るだけ季節感を感じる事の出来る行事を月々企画し積極的に受け入れ入居者の皆様に大変喜んでいただきました。入居希望者には、ご本人、ご家族の意向をもとに素早い対応を心掛け獲得に努めました。受入れの環境が整い常に空床がないように努めました。引き続きケアマネ及び関係機関（医療機関・役所）との良好な関係を維持し、連絡を密にするよう努めてまいります。

※入居14名（内訳 老健7名・自宅5名・その他2名）

※退居15名（内訳 死亡9名・入院4名、その他2名）

介護度別及び年度別比較表

(延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 計 | 平均介護度 |
|-------|-------|-------|-------|------|------|------------|-------|
| 令和3年度 | 1,771 | 3,608 | 4,105 | 0 | 0 | 9,484 | 3.93 |
| 令和2年度 | 1,660 | 3,274 | 4,437 | 0 | 0 | 9,377 | 3.93 |
| 比較 | -40 | 295 | -317 | 0 | 0 | <u>107</u> | |

平均年齢 87.8歳(昨年 88.6歳) 稼働率 89.6%(昨年 88.9%)

11、つつみ園居宅介護支援センター（常勤1名）

介護保険法の理念に基づき要支援状態或いは要介護状態にある高齢者自らの意思を尊重し、その新進の状態に応じた能力を活かし、住み慣れたご自宅等で出来るだけ自立したその方らしい生活を営むことができると共に、状態の悪化を予防できるよう医療・福祉の関係機関又は、

地域の方々と連携し、総合的に支援を行いました。ご利用者及びご家族のニーズに基づき、安心して生活が送れるように、ご利用者及びご家族とともにサービスプランを考え各事業所と積極的に連携を取りながらプランを作成しました。介護予防・自立支援をめざし公平な立場で満足していただける頼りになるケアマネージャーを目指して積極的に研修等に参加し、より質の高いサービスを提供できました。また、各種の研修に積極的に参加いたしました。

プラン数及び年度別比較表

(延べ件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|----|----|----|-----------|
| 令和3年度 | 35 | 31 | 36 | 37 | 39 | 38 | 216 |
| 令和2年度 | 37 | 35 | 36 | 36 | 37 | 38 | 219 |
| 比較 | -2 | -4 | 0 | 1 | 2 | 0 | -3 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 令和3年度 | 37 | 35 | 34 | 34 | 33 | 35 | 208 |
| 令和2年度 | 35 | 35 | 32 | 36 | 37 | 34 | 209 |
| 比較 | 2 | 0 | 2 | -2 | -4 | 1 | -1 |
| | | | | | | | <u>-4</u> |

1 2、つつみ園地域包括支援センター (常勤4名)

高齢者が要援護状態に陥ることや、要援護状態であっても状態が悪化しないよう必要な支援を行うために、対象区域である豊田市(前林中学校区)の地域の実態把握とともにその心身の状況・環境その他に応じて介護予防その他の適切な事業が包括的かつ効果的に提供支援することができました。令和3年度も継続してネットワークの充実を図り地域に密着した支援が出来るように24時間の連絡体制整備出来事故の予防に努めました。また、苦情対応に対する適切な対応ができ、対処法等職員間で情報共有すると共に再発防止に努めました。地域のニーズを訪問、相談、面接を通じて把握して、実態に合った介護予防プラン及び介護教室を実施しました。人材育成計画に基づき包括的に支援事業に専念できる環境の整備に努め、3包括(みのり園・つつみ園・わかばやし園)との情報を共有し職員の資質向上に努めました。

年度別比較表

(電話・訪問・来所・対応件数)

| | 電話 | 訪問 | 来所 | 対応件数 |
|-------|-------|-------|------|-------|
| 令和3年度 | 4,668 | 1,028 | 210 | 7,199 |
| 令和2年度 | 4,633 | 1,933 | 530 | 7,096 |
| 比較 | 35 | -905 | -320 | 103 |

1 3、つつみ園デイサービスセンター (定員18名・常勤3名・非常勤8名・運転手3名)

ご利用者1人ひとりのご要望を聞きながらご利用者の人達に楽しんでいただける(習字・体操・ゲーム等)レクリエーションを実施しました。また、音楽療法を取り入れ脳の活性化及び回想法として心身の健康に努めました。昨年は、複数のボランティアを受け入れ大変楽しんでいただきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度は受入を中止しました。利用者に喜んでいただくよう、敷地内に花・野菜など栽培し季節を感じていただきました。新規獲得につきましては、ケアマネ及び関係機関と良好な関係を保ち積極的に取り組みました。インフルエンザ等体調不良者、入院、ショート利用、当日キャンセル等がありましたが、敏

速な対応を心掛け最小限の減少となりました。引き続き営業活動等を行い利用者の増加に努めました。

介護度別及び年度別比較表

(延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 要支援 | 計 |
|-------|------|------|------|------|-------|-----|-------------|
| 令和3年度 | 0 | 44 | 367 | 773 | 1,847 | 353 | 3,384 |
| 令和2年度 | 0 | 8 | 560 | 653 | 1,925 | 363 | 3,509 |
| 比較 | 0 | 36 | -193 | 120 | -78 | -10 | <u>-125</u> |

平均介護度 1.8(昨年 1.8) 平均利用人数 11.6名(昨年 11.9名)

14、特別養護老人ホーム豊田わかばやし園 (定員29名・常勤22名・非常勤1名)

入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、居宅における生活への復帰を念頭において、入居前と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことが出来るよう支援していくことを運営方針とし、施設外出行事計画・実施や夏祭り、新年会などをはじめ、出来るだけ季節感を感じることに出来る行事を月々企画し、入居者の皆様に大変喜んでいただきました。

外部研修には積極的に Web 参加し資質向上に努めました。また、内部研修については隔月1回程度実施し、情報の共有化及びモチベーションアップ向上に努めました。

※入居9名 (内訳 老健3名・有料2名、その他4名)

※退居13名 (内訳 死亡4名、入院5名、その他4名)

介護度別及び年度別比較表

(延べ利用者数)

| | 要介護5 | 要介護4 | 要介護3 | 要介護2 | 要介護1 | 計 | 平均介護度 |
|-------|--------|-------|------|------|------|-------------|-------|
| 令和3年度 | 2,352 | 5,809 | 800 | 365 | 0 | 9,326 | 4.08 |
| 令和2年度 | 4,121 | 4,572 | 721 | 150 | 0 | 9,564 | 4.32 |
| 比較 | -1,769 | 1,237 | 79 | 215 | 0 | <u>-238</u> | |

平均年齢 86.1歳(昨年 89.9歳) 稼働率 83%(昨年 90%)

15、わかばやし園居宅介護支援センター (常勤1名)

介護保険法の理念に基づき要支援状態或いは要介護状態にある高齢者自らの意思を尊重し、その新進の状態に応じた能力を活かし、住み慣れたご自宅等で出来るだけ自立したその方らしい生活を営むことができると共に、状態の悪化を予防できるよう医療・福祉の関係機関又は、地域の方々と連携し、総合的に支援を行いました。ご利用者及びご家族のニーズに基づき、安心した生活が送れるように、ご利用者及びご家族とともにサービスプランを考え各事業所と積極的に連携を取りながらプランを作成しました。介護予防・自立支援をめざし公平な立場で満足していただける頼りになるケアマネージャーを目指して積極的に研修等に参加しより質の高いサービスを提供できました。

プラン件数年度別比較表

(延べ件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 令和3年度 | 27 | 27 | 29 | 28 | 28 | 27 | 166 |
| 令和2年度 | 35 | 34 | 30 | 35 | 33 | 35 | 202 |
| 比較 | -8 | -7 | -1 | -7 | -5 | -8 | -36 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 令和3年度 | 30 | 29 | 33 | 36 | 37 | 38 | 203 |
| 令和2年度 | 32 | 34 | 33 | 33 | 31 | 35 | 198 |
| 比較 | -2 | -5 | 0 | 3 | 6 | 3 | 5 |
| | | | | | | | <u>-31</u> |

16、わかばやし園地域包括支援センター（常勤6名）

高齢者が要援護状態に陥ることや、要援護状態であっても状態が悪化しないよう必要な支援を行うために、対象区域である豊田市（高岡中学校区）の地域の実態把握とともにその心身の状況・環境その他に応じて介護予防その他の適切な事業が包括的かつ効果的に提供支援することができました。令和3年度も継続してネットワークの充実を図り地域に密着した支援ができました。地域のニーズを訪問、相談、面接を通じて把握して、実態に合った介護予防プラン及び介護教室（年間6回・認知症予防、家族交流会等）を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年度より一部自粛しました。

人材育成計画に基づき包括的に支援事業に専念できる環境の整備に努め、3包括(みのり園・つつみ園・わかばやし園)との情報等共有職員の資質向上に努めました。

年度別比較表

(電話・訪問・来所・対応件数)

| | 電話 | 訪問 | 来所 | 対応件数 |
|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|
| 令和3年度 | 5,402 | 1,146 | 226 | 7,749 |
| 令和2年度 | 5,403 | 1,925 | 636 | 7,965 |
| 比較 | -1 | -779 | -410 | -216 |

以上

会 務 の 運 営

当法人の事業、活動を円滑に遂行するため、令和3年度において、理事会（4回）及び評議員会（3回）を次のとおり開催しました。

1、理 事 会（4回）

（1）第1回理事会

日 時 令和3年6月 9日（水）午前10時00分～午前11時00分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 理事定数6名（現人員6名）出席数5名 欠席数1名

監事2名 出席数2名

議 案

議案第1号 新役員(理事・監事)の推薦について

議案第2号 令和2年度事業報告書(案)並びに収支決算書(案)について

議案第3号 令和3年度第1回評議員会開催について

議案第4号 評議員選任・解任委員会開催について

議案第5号 評議員選任・解任委員選任について

議案第6号 評議員の推薦について

報告第1号 理事長の自己の職務の執行の状況報告について

報告第2号 つつみ園地域包括支援センター運営規定の一部変更について

（2）第2回理事会

日 時 令和3年6月24日（木）午前11時00分～午前11時15分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 理事定数6名（現人員6名）出席数6名

監事2名 出席数2名

議案第7号 理事長の選定について

（3）第3回理事会

日 時 令和3年11月15日（月）午前10時00分～午前11時00分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 理事定数6名（現人員6名）出席数6名

監事2名 出席数1名 欠席数1名

報告第3号 (1)理事長の自己の職務の執行の状況報告について

(2)半期事業報告書、収支決算書並びに後期予測について

(3)特別養護老人ホーム豊田みのり園運営規程の一部変更について

(4)みのり園ショートステイセンター運営規程の一部変更について

(5)みのり園デイサービスセンター運営規程の一部変更について

(6)つつみ園地域包括支援センター運営規程の一部変更について

(7)特別養護老人ホーム豊田わかばやし園運営規程の一部変更について

- (8)わかばやし園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
- (9)つつみ園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
- (10)わかばやし園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
- (11)特別養護老人ホーム豊田みのり園運営規程の一部変更について
- (12)みのり園ショートステイセンター運営規程の一部変更について
- (13)特別養護老人ホーム豊田つつみ園運営規程の一部変更について
- (14)特別養護老人ホーム豊田わかばやし園運営規程の一部変更について
- (15)わかばやし園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
- (16)みのり園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
- (17)給与規程の一部変更について
- (18)令和3年度豊田市介護施設等整備事業費補助金の内示について

(3) 第4回理事会

日 時 令和4年3月16日(水) 午前10時00分～午前11時00分
 場 所 豊田市中根町男松79番地
 特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース
 出 席 理事定数6名(現人員6名) 出席数6名
 監事2名 出席数1名 欠席数1名

議 案

- 議案第8号 令和3年度補正予算書(案)について
- 議案第9号 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
- 議案第10号バルクタンク交換工事について
- 議案第11号令和3年度第3回評議員会開催について
- 報告第4号 理事長の自己の職務の執行の状況報告について
- 報告第5号 (1)介護施設等大規模修繕について
 - (2)みのり園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
 - (3)特別養護老人ホーム豊田みのり園運営規程の一部変更について
 - (4)みのり園ヘルパー運営規程の一部変更について
 - (5)つつみ園地域包括支援センター運営規程の一部変更について
 - (6)みのり園地域包括支援センター運営規程の一部変更について

2、評議員会（3回）

（1）第1回評議員会

日 時 令和3年6月24日（木）午前9時25分～午前10時20分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 評議員定数7名（現人員7名）出席数6名 欠席数1名

監事2名 出席数2名

報告第1号 令和2年度事業報告書(案)について

議 案

議案第1号 令和2年度収支決算書(案)について

議案第2号 新役員(理事・監事)の選任について

（2）第2回評議員会

日 時 令和3年11月15日（月）午前10時00分～午前11時00分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 評議員定数7名（現人員7名）出席数6名 欠席数1名

監事2名 出席数1名 欠席数1名

報告第2号 (1)事業報告書、収支決算書並びに後期予測について

(2)令和3年度豊田市介護施設等整備事業費補助金の内示について

（3）第3回評議員会

日 時 令和4年3月28日（月）午前10時00～午前11時00分

場 所 豊田市中根町男松79番地

特別養護老人ホーム豊田みのり園 地域交流スペース

出 席 評議員定数7名（現人員7名）出席数7名

監事2名 出席数1名 欠席数1名

報告第3号 令和2年度事業報告書(案)について

議 案

議案第3号 令和3年度補正予算書(案)について

議案第4号 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について